

「未来の自分」と出会う秋

校長

実り豊かな秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ来週から2年生が地域の事業所様のご協力をいただき、3日間の職場体験活動へと向かいます。学校を離れ、実際に働く大人たちの姿に触れるこの体験は、生徒たちにとって大きな成長の機会となります。

そもそも、社会では、どのような人材が求められているのでしょうか。これは2年生だけでなく、これからの学校生活を創る1年生にも、自らの進路を見つめる3年生にも通じる重要な問いかけです。

例えば Apple や Google といった海外の IT 企業では、「答えのない課題に対して自ら学び続ける力」や「多様な人々と協働して新しい価値を生み出す力」が重視されています。また、国内のサントリーの「失敗を恐れず挑む姿勢（やってみなはれ）」や、トヨタ自動車の「現状に満足せず工夫を重ねる姿（改善）」にも見られるように、世界で求められる力の本質は共通しています。それは、知識の量だけではなく、「主体的に挑戦すること」「他者と誠意をもって協力すること」「失敗から学び工夫し続けること」です。

これらの力は大人になって突然身につくものではありません。みなさんが日々送っている中学校生活こそが、まさにその力を育むための「準備の場」なのです。

全校生徒の皆さんには、日頃の学校生活で次の3つを意識してほしいと思います。

- ☐ 「挨拶と感謝」で信頼を築くコミュニケーション力
信頼関係の第一歩は、明るい挨拶と「ありがとうございます」の感謝の言葉です。
- ☐ 「自分で考えて動く」主体性と、素直に教を乞う姿勢
主体性とは、今何が必要か、自分にできることは何かを考えて「動く」ことです。
- ☐ 「失敗を恐れず挑戦し、学び続ける」粘り強さ
失敗を恐れて何もしないことよりも、思い切って挑戦し、そこから学ぶことの方に価値があります。

2年生の皆さんには、城東中学校の代表としての自覚をもち、相手の目を見て明るく挨拶すること、感謝の気持ちを行動で示すことを心掛けて、実りある体験にきてほしいと願っています。1年生は先輩の背中から「来年自分たちがどう動くべきか」を学び、3年生は自らの進路と将来を改めて見つめ直す機会としてください。

最後になりましたが、生徒を温かく受け入れてくださる事業所の皆様に深謝申し上げます。ご家庭でもぜひ「働くこと」「未来のこと」について話題にいただければ幸いです。

全国学力・学習状況調査の分析と対策について

4月に3年生を対象で行われた全国学力・学習状況調査の結果が届きました。職員間でも分析を行い、今後の学習指導の対策を練り上げました。

教科に関する調査の結果		
国語	数学	英語
平均正答率は全国平均を下回り、特に高正答率の生徒の割合が全国を下回っています。 「知識・技能」「思考・判断・表現」の両方の観点で全国平均を下回っており、特に<u>文章を読み取って内容を解釈する力や、語句の意味を文脈に即して理解する力に課題があります。</u>一方で、<u>情報と情報との関係を整理する問題や、文章を読んで自分の考えをまとめる問題では全国平均並み、または上回る結果も見られました。</u> 	平均正答率は全国平均を下回り、特に高正答率の生徒の割合が全国を下回っています。 「思考・判断・表現」の観点で全国との差が大きく、特に<u>記述式問題に課題が見られます。グラフやデータを基に考察した内容を説明する問題や、図形の性質を用いて証明する問題において、数学的な根拠を明確にして表現する力が十分に身に付いていない状況が見られます。</u>一方で、<u>正の数・負の数の活用や反比例の関係を読み取る問題など、基礎的な知識・技能を問う問題では全国平均並み、または上回る結果も見られました。</u>	平均 IRT スコア※は全国平均を下回り、特に高い学力層の生徒の割合が全国を下回っています。 「聞くこと」及び「読むこと・書くこと」の技能で全国平均を下回っています。一方で、<u>自分の体験や考えをまとまりのある英文で表現する問題や、必要な情報を読み取る問題では良好な結果が見られました。</u>反面、<u>英語を聞いて要点を捉える問題や、与えられた情報を基に英文を書く問題では課題が見られ、文法や語彙の知識を活用して適切に表現する力の向上が必要です。</u> ※IRT スコア:異なる問題から構成される試験・調査を同じ尺度で比較するための数値
質問調査の結果		
【学校生活】「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒の割合は全国平均を上回っており、<u>学校生活への満足感や自己肯定感の高さが見られます。</u> 【学習意欲】<u>国語については「勉強が好き」と回答した生徒の割合が全国平均を上回っています。</u>一方で、数学や英語では「授業の内容がよく分かる」と回答した割合が全国平均を下回っており、特に英語では学習意欲や授業理解に課題が見られます。 【家庭学習】平日の家庭学習時間は全国平均を下回っており、特に<u>1時間以上学習する生徒の割合が全国を下回っています。</u>家庭学習の習慣は見られるものの、学習時間の確保や学習内容の充実が課題です。 【ICTの利活用】一人一台端末の活用が定着しており、<u>授業におけるICT機器の活用頻度は全国平均を上回っています。</u>また、<u>情報検索や文章作成などの活用に対する自己評価も高く、家庭学習でICTを活用する生徒の割合も全国平均を上回っています。</u>一方で、情報を整理・分析したり、学習内容を深めたりする場面での活用にはさらなる工夫が必要です。		
今後の学習指導の方向性		
1 学力全般の向上 基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、学力上位層の伸長にも取り組みます。個に応じた支援や発展的な課題を設定し、全ての生徒が学力を向上できる授業づくりを進めます。国語・数学・英語ともに見られた学力層の二極化の改善を目指します。	2 思考力・表現力の育成 各教科において、自分の考えを根拠とともに説明したり、文章や図、式などを用いて表現したりする活動を充実させます。話し合いや発表、記述活動を通して、「思考・判断・表現」の力を育成します。	3 主体的に学ぶ力の育成 学習の見通しをもち、振り返りを行いながら、自ら学習方法を工夫できる生徒の育成を目指します。授業で学んだことを実生活や次の学習に結び付けて考える活動を取り入れ、主体的な学びを促します。
4 家庭学習の推進 平日の学習時間は全国平均を下回っていることから、家庭学習の習慣化と質の向上を図ります。家庭学習と授業との関連を明確にし、生徒が目的意識をもって継続的に取り組めるよう工夫します。ご家庭でも励ましの声掛けをお願いします。	5 ICTの効果的な活用 授業や家庭学習におけるICT活用は定着してきています。今後は、情報収集だけでなく、情報の整理や共有、考えの比較・検討など、学びを深めるための活用を進めます。また、英語学習をはじめとした家庭学習での効果的な活用も推進します。	6 学習意欲の向上 学校生活への満足感や自己肯定感を学習意欲につなげられるよう、より一層分かる授業づくりを推進します。特に学ぶ楽しさや達成感を味わえる活動を充実させ、生徒が意欲的に学習へ向かうことができるよう支援します。

練習の成果を発揮してきました！

長岡市立劇場を会場に、新潟県吹奏楽コンクールが開催されました。大きな人数編成の部での挑戦となりましたが、凛とした城東サウンドを響かせてきました！

また、富山県総合運動公園陸上競技場を会場に北信越大会、山口県維新みらいふスタジアムを会場に全国大会が開催されました。刺すような暑さの中、力走を見せてくれました。

吹奏楽部

令和8年8月8日（土）
新潟県吹奏楽コンクール
A 編成の部 銅賞



陸上競技部

令和8年8月6日（木）北信越大会
男子3年 100m 11” 24
令和8年8月22日（土）全国大会
共通男子 100m 11” 32



前期学校評価ありがとうございました！

1 学期末にご協力いただきました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。職員研修や学校運営協議会の中で議論し、今後の方向性や改善の方策等について協議しました。

令和8年度 前期 生徒アンケート全校集計結果				
No.	質問項目	肯定的 選択率	前回 R7年7月	前回比
1	学習規律(チャイム着席・私語0・忘れ物0)を守っている。	87.7%	88.8%	-1.2%
2	授業がよく分かる。	83.0%	86.9%	-3.9%
3	授業では、積極的に発言したり、仲間と関わったりして、意欲的に取り組んでいる。	73.0%	77.0%	-4.0%
4	授業では、ICTを積極的に活用している。	85.3%	90.0%	-4.7%
5	計画的に家庭学習に取り組んでおり、1日の平均家庭学習時間が1時間(60分)＋学年×10分を超えている。	39.3%	44.9%	-5.6%
6	「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)を守っている。	92.5%	94.8%	-2.2%
7	「あ・じ・み」(あいて・じぶん・みんな)を大切にしている。	94.9%	96.7%	-1.8%
8	学校が楽しい。	91.0%	91.0%	0.0%
9	安心して学校生活を送っている。	92.0%	94.1%	-2.0%
10	友だちとの関係はうまくいっている。	93.6%	96.0%	-2.4%
11	自分には良いところがある。	81.5%	82.4%	-0.9%
12	自分の良さを認めてくれたり、自分を高めてくれたりする仲間がいる。	95.6%	96.9%	-1.3%
13	「人にも物にもやさしく思いやりの気持ち」をもって、周りの人の気持ちを考えた言葉がけや行動をしている。	94.1%	95.0%	-0.9%
14	「正しいことを貫き、してはならないことはしない」とする正義の心を大切にしている。	94.3%	94.1%	0.3%
15	どんな理由があっても、いじめや差別はよくないと思う。	98.7%	97.1%	1.6%
16	いじめられている人がいたら、助けてあげたいし、力になってあげたいと思う。	96.9%	97.4%	-0.5%
17	将来の夢や目標をもっている。	71.0%	73.4%	-2.4%
18	何事に対しても、自分なりの目標をもち、あきらめずに粘り強く挑戦している。	86.6%	85.7%	0.9%
19	進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めている。	77.9%	80.8%	-2.9%
20	毎日、朝食をきちんと食べている。	93.3%	92.9%	0.4%
21	夜更かしをせず、睡眠を7時間以上とるようにしている。	79.7%	79.6%	0.1%
22	メディアの使用時間を気にかけ、規則正しい生活を心がけている。	58.9%	64.1%	-5.3%

令和8年度 第1回 保護者アンケート集計結果				
No.	質問項目	肯定的 選択率	前回 R7年7月	前回比
1	子どもは、授業の内容が理解できていると感じる。	63.9%	58.8%	5.1%
2	子どもは、家庭学習を計画的に行っている。	43.5%	38.5%	5.0%
3	子どもは、楽しく学校生活を送っていると感じる。	89.9%	88.2%	1.8%
4	子どもは、「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)ができていていると感じる。	82.2%	84.5%	-2.2%
5	子どもは、交通ルールや学校の決まり等を守っていると感じる。	92.9%	92.6%	0.3%
6	子どもは、思いやりの心や正義の心を大切にしていると感じる。	93.5%	92.9%	0.6%
7	子どもには、いじめや差別を許さない態度が育まれていると感じる。	95.6%	95.3%	0.3%
8	子どもは、規則正しい健康的な生活習慣が身に付いていると感じる。	66.9%	70.6%	-3.7%
9	子どもは、進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めていると感じる。	65.7%	66.9%	-1.2%
10	城東中学校は、信頼できる学校である。	89.1%	88.2%	0.9%
11	学校から情報は保護者によく伝えられている。	83.7%	82.4%	1.3%
12	TV、ゲーム、タブレット、PCなど、メディアを使用するルールや時間帯を決めている。	42.0%	37.2%	4.8%
13	家族で将来のことについて話し合いをすることがある。	62.4%	58.1%	4.3%
14	1学期中に学校行事やPTA活動で、学校に足を運んだ回数をお知らせください。	1.39回	1.63回	

自由記述でも、貴重なご意見をたくさんいただきました。一つ一つのご意見を真摯に受け止め、全職員で共有し、今後の教育活動に活かしていきます。

良い点、感動した点 ※一部抜粋

1 先生方の温かい関わりと熱心な指導

生徒一人一人に寄り添う支援 なかなか学校に足が向かない生徒への支援や、日常の小さな変化への気づきなど、先生方が生徒一人一人に寄り添いながら関わっていることへの感謝の声が多く寄せられました。

保護者も安心できる対応 困りごとや体調不良への対応、日常の声掛けなど、教職員の親身な対応により、子どもが安心して学校生活を送ることができているとの評価をいただきました。

2 生徒主体で活気あふれる学校行事

体育祭への高い評価 多くの保護者から、体育祭で生徒が主体的に運営し、一人一人が役割を果たしながら生き生きと活動する姿に感動したとの声が寄せられました。軍 T シャツの取組や仲間と協力する姿、熱中症対策や保護者への配慮なども好評でした。

入学式での合唱 3年生による合唱に感動したという意見が多くありました。練習の成果が感じられ、学校全体のまとまりや温かな雰囲気が伝わったとの評価をいただきました。

3 丁寧な情報発信と家庭との連携

学級・学年だよりの充実 学級だよりや学年だよりを毎週楽しみにしており、学校での様子がよく分かるとの声がありました。家庭での会話のきっかけとなり、学校と家庭をつなぐ大切な役割を果たしているとの評価をいただきました。

きめ細かな連絡 体調不良時や保健室利用時の連絡、連絡ノートを活用した情報共有など、保護者が安心できる丁寧な情報発信への感謝の声が寄せられました。

4 学習面でのサポートと教育活動の充実

分かりやすい授業と学習支援 授業が分かりやすいことや、質問教室など学習を支える取組に対して評価する声がありました。また、テスト形式の改善や ICT 活用など、生徒の学習定着に向けた工夫に期待する意見も寄せられました。

5 部活動や学校生活を通じた成長

熱心な部活動指導 顧問の先生方の熱心な指導や、部活動を通して充実した学校生活を送ることができていることへの感謝の声がありました。

安心して通える学校環境 「子どもが毎日楽しく学校へ通っている」「学校に支えられていると感じる」など、学校生活全般への満足の声も多く寄せられました。

改善してほしい点・要望 ※一部抜粋

1 学習について

テストの実施方法や家庭学習の進め方について、一貫性や見通しをもった取組を求める意見がありました。また、一部教科において、課題量や事前連絡、授業での指導方法について改善を望む声が寄せられました。

2 体育祭について

体育祭については好意的な意見が多い一方で、保護者観覧エリアの見直しや集合写真撮影の機会確保、エール交換など従来の取組の継続を望む声がありました。また、ボランティア運営について改善を求める意見も寄せられました。

3 学校と家庭の連携・情報共有について

各種案内をより早く発信してほしいという意見やペーパーレス化を求める声がありました。また、部活動地域展開や熱中症時の活動方針などについて、より分かりやすい情報提供を望む意見も寄せられました。

4 生徒指導について

授業中の私語や立ち歩き、施設破損などの問題行動に対し、より毅然とした指導を求める声がありました。真面目に学校生活を送る生徒が安心して学習できる環境づくりへの要望が寄せられました。特に登下校中の交通安全指導の一層の充実が望まれています。

10月の主な予定

- 2日(金) 3年学力診断テスト②
- 5日(月) 後期正副級長任命式
- 8日(木) 地区駅伝大会、避難訓練②
- 15日(木) 文科省指定道德教育研究発表会

- 16日(金) 1年歯肉炎予防教室
- 28日(水) 合唱コンクール(上越文化会館)



第2回学校運営協議会が開催されました！

9月10日（木）に学校運営協議会を開催し、本校の教育活動について協議を行いました。

まず、地域人材を活用した学びの場である「学び場」「遊び場」について、その成果を確認しました。地域の方々との交流を通して、子どもたちの自主性が育っていることが報告され、今後も地域と連携した活動を充実させていくことを確認しました。周知方法を工夫し、自ら学ぶ場があるということを全校に広めていくことで一致しました。

また、総合的な学習の時間や道徳科の授業において、地域の方や専門的な知識・経験をもつ方をゲストとして招く取組について意見交換を行いました。子どもたちが多様な考え方や生き方に触れる貴重な機会となることから、積極的に活用していくことの大切さが話し合われました。

さらに、学校だよりのペーパーレス化についても協議しました。環境への配慮や情報提供の効率化の観点から、デジタル配信の活用を進めるとともに、保護者の皆様が必要な情報を確実に受け取れる方法について検討していくこととなりました。また地域とのつながりを維持するという観点からデジタル配信の範囲を考えてほしいという意見も出されました。

今後も、地域や保護者の皆様と連携しながら、よりよい学校づくりを進めてまいります。

今、道徳教育が熱い！

当校は今年度、文部科学省指定「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の指定を受け、道徳教育のさらなる充実に取り組んでいます。

子どもたちが自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力を育むため、道徳科の授業を中心に教育活動全体を通した道徳教育を推進しています。授業では、「考え、議論する道徳」の考えに基づき授業を構成し、一人一人が自分の考えをもち、友人との対話を通して多様な価値観に触れながら、自らの生き方について考えを深めています。

また、地域の方々や専門的な知識・経験をもつ方をゲストティーチャーとして招き、実体験に基づく話を聞く機会も大切にしています。子どもたちは様々な人との関わりを通して、思いやりや感謝の気持ち、社会の一員としての自覚を育んでいます。

今後も家庭や地域の皆様と連携しながら、子どもたちがよりよい生き方を実践する力を身に付けられるよう、道徳教育の充実に努めてまいります。ぜひみなさんも気軽に授業に参加してみませんか。

日々の実践の中から当校の道徳教育主任 教諭の7月15日に行われた授業と生徒の振り返りを紹介します。

1 主題名 仕事を全うすることの責任と意義 「A-(1) 自主、自律、自由と責任」

2 教材 父のひと言 （教育出版「中学道徳3 とびだそう未来へ」）

3 ねらい

（1）与えられた仕事や役割を全うすることの責任と意義について考えを深める。

（2）自分に与えられた役割や仕事に対して責任をもって取り組もうとする道徳的心情を深める。

【生徒の感想】

- ・仕事を任されるときは、頼む人も「この人ならやってくれる」という信頼があって頼んでいる。やる人もその信頼に答えなければいけない。それが責任をもつということなのではないかと思った。だから、これからは任された仕事には、自分を信頼してくれている人の分までちゃんと仕事をするという意志をもってやっていきたい。
- ・自分の仕事を全うしないと、人に迷惑をかけたり、他の仕事が回らなくなったりすることがある。あまりやりたくない仕事でも、達成できれば信頼されるし、意外と自分に合うことを知ることができかもしれない。与えられた仕事はしっかりとこなす中で、自分の強みや信頼を高めていくことができると思う。中川さんは父のひと言で自分の夢をあきらめずに立ち上がったことはすごいと思った。
- ・いろんな種類の仕事があるけれど、結局いやでも引き受けたのが自分であれば、最後までやって当然だと思う。「嫌だから途中でやめる」ということは、頼んできた人に対しても失礼に当たると思うし、自分が思っているよりもたくさんの人に迷惑がかかる。だから、「責任を全うする」という言葉があると思った。自分の委員会や係は、「やりたいな」と思ったものに就いたわけではないけれど、学校には自分の仕事の影響を受けるたくさんの人がいるわけで、クラスの30人、学年、学校と、どんどん自分の仕事の影響が大きくなっていくと思うから、できる限り全力でやるようにしている。これからも続けていこうと思う。

振り返りの内容から 教諭の発問に対して生徒が活発に議論し、考えを広げ、深めている様子が鮮明に思い浮かびます。今後も学校だよりで授業等の情報を発信してまいります。